

森林シューセキ！事例報告会

「秋田県大館市の事例紹介」

日時：令和2年2月5日(水)10時

会場：三田共用会議所 講堂

秋田県大館市産業部農林課

主査 杉山 利久

大館市の紹介



秋田県北部

総面積 91,322ha

森林面積 72,222ha(79%)

民有林 30,183ha

人工林 17,807ha

森林経営管理制度対象

12,179ha

市の木「秋田スギ」

Vision Preparation

何を成し遂げたいのか？

クリアすべき課題・問題は？

阻害要因は？

枠組みは？

予算は？ ……たくさんあります！

本日は、これまで推進した中で、どこの市町村でも起こりうるような事をご紹介させていただき、少しでもご参考になれば幸いです。

1番の問題は林業人がいない！

市町村ならではの問題

大館市では

- (仮称) 林政課
- 専任担当者
- 現地での経験・知識
- 所有者情報

Vision Formulation

☆事業全体ビジョン

☆事業推進ビジョン

事業全体ビジョン

- ① 林業人を育成する！
- ② 委託は境界画定と皆伐・間伐などの施業のみ！
→できるものは自前でやる。
- ③ 1年間は約600ha！
→大館市の対象森林1万2千haを600で割ると
20年1サイクル
- ④ なるべく集約・団地化で効率の良い施業！
→大館市有林も団地化

事業推進ビジョン

(仮称)大館市森林整備公社設立

林業人の育成を主軸とした林業の専門集団

※広域化も視野に検討を進める

→林業成長産業化地域構想の目標実現への一助

→林業成長産業化モデル地域に選定

=北秋田地域振興局管内

=大館北秋田森林組合管内

事業推進ビジョン

令和元年度～3年度

(仮称)大館市森林整備公社設立準備

- ・専門職員の雇用→技術・事務計4名
- ・専門職員の養成→今年度は9研修に参加
- ・意向調査等業務推進
- ・設立方法の検討
 - 公社、協議会、株式会社・・・
- ・定款や規約・規程等の策定準備

事業推進ビジョン

令和4年度～6年度

(仮称)大館市森林整備公社設立

- ・専門職員の雇用→増員(譲与税額増)
 - ・意向調査等業務推進
 - ・林業成長産業化協議会事務局機能(大館市担当業務)の段階移行
- モデル事業は3年度終了するが協議会は継続検討
- ・業務の広域化検討
- メリット・デメリット洗い出しや譲与税負担等

事業推進ビジョン

令和7年度～10年度

大館市森林整備公社業務広域化の準備期間

- ・専門職員の雇用→増員(譲与税額増)
- ・意向調査等業務推進
- ・林業成長産業化協議会事務局(大館市担当業務)の受託 ※協議会が継続される場合
- ・移行準備

→これまでに業務の広域化が決定されている場合、定款変更や事業ボリューム調査などの準備

事業推進ビジョン

令和11年4月1日～

(仮称)

大館市森林整備公社

広域化業務開始

- ・森林経営管理事業の積極的推進
- ・林業成長産業化事業の成果を活かした事業展開
- ・林業専門職や担い手の育成

令和元年度実施業務

これまでに大館市でやったこと

- ①意向調査計画策定(5年分) ※30交付金事業
- ②嘱託職員の雇用、公社事務環境準備
- ③広報への制度周知等
 - ・制度開始
 - ・座談会開催
 - ・制度特集
- ④座談会開催
 - ・12公民館(6月、19時～20時)
- ⑤意向調査票発送(8月1日)
- ⑥経営管理権集積計画(13人、27筆、41.5905ha)

課題・・・

意向調査業務

意向調査地区対象者 172人

- ・土地・森林が一致:88人(第1回送付)
- ・不一致等:84人→探索

☆相続未登記が多い!

※抵当権が設定されている土地が発覚

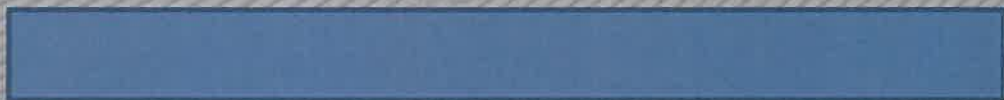
→ほとんどの例が登記簿を直していないだけ。


順位 1 番の登記を移記

原因 大正4年12月20日設定

債権額 金50円

利息 月並1歩5朱

抵当権者  番地


共同担保 目録(あ)第82/4150号

順位 2 番の登記を移記

昭和63年法務省令第37号附則第2条第2項
の規定により移記

平成15年10月22日

課題・・・

経営管理権集積計画業務

ほとんどの所有者が高齢者

- ・集積計画個別訪問中(計画の内容協議)に
夫婦で施設入所
→2回目の手紙送付で妹から連絡あり発覚
※法定相続人(子ども)は権利放棄らしい。
- ・現場の立ち合いは困難

大館市は**積極姿勢**で制度に取り組む

目に見える成果で生み出す効果

●制度PR→**森林整備**(制度目標)

- ・秋田杉ブランドを未来へ(再造林率)
- ・木材供給先(都市部へのシェア)
- ・新たな木材需要の創出

→**林業への理解向上**

- ・防災、減災への貢献(木育なども)
- ・雇用創出、人材確保

ご静聴ありがとうございました